

2025 年 7 月 30 日
アジア航測株式会社

(コード：9233 東証スタンダード市場)

アジア航測と EpicAI 社、 水道 GIS と連携した「音声漏水検知 AI」の共同開発を開始

～先端 AI 技術で上下水道インフラをアップグレード。DX と AI で老朽化する水道管の漏水の課題を解決～

アジア航測株式会社（代表取締役社長 畠山仁、以下「アジア航測」）は、株式会社 EpicAI（代表取締役 横山敬一、以下「EpicAI」）と水道 GIS※と連携した「音声漏水検知 AI」の共同開発を開始いたします。本取り組みでは、国内自治体と連携し、老朽化が進む上下水道インフラの維持管理の高度化を目指します。

※水道 GIS：水道管路や施設情報を地理空間上で一元管理する地理情報システム（GIS）

全国の水道管の多くが法定耐用年数を超え、漏水事故・断水リスクが顕在化しています。漏水箇所特定には、いまだに巡回点検・聴診棒による人的作業が中心で、自治体職員・受託事業者の負担が増大しています。

EpicAI は建設・製造業界を中心に生成 AI 技術の開発を進め、水道領域では画像認識技術を応用し衛星画像から漏水リスクを高精度に予測する研究を政令指定都市と進めてきました。

アジア航測は長年にわたり航空写真測量・GIS 構築を手掛け、多数の自治体に上下水道 GIS を導入した実績があります。

こうした背景のもと、両社は「水道 GIS × 音声データ × AI」により、漏水検知の自動化・予兆保全を実現し、持続可能な水インフラ運営を支援します。

これまでアジア航測と EpicAI は複数自治体の協力を得て、配水管網、給水管において、2025 年度にデータ収集/検証を進めてまいりました。今後これらのデータや多くの自治体様との協業を通じて、精度改善/開発を実施してまいります。

会社概要

アジア航測株式会社 <https://www.ajiko.co.jp/>

1954 年設立。自社航空機を保有・運航し、最先端の計測技術や AI 等を活用した解析技術を活かして、国土保全や社会インフラのマネジメント、行政支援サービス等、空間情報コンサルタントとして幅広く事業を展開しています。水インフラ分野においても多数の自治体への管理システムの導入や維持管理計画、ビジョン、経営戦略などの多岐にわたるコンサルティング実績を有し、包括的維持管理（WPPP）にも積極的に取り組んでいます。

株式会社 EpicAI <https://epicai.co.jp/>

EpicAI は、株式会社松尾研究所でのエンジニア経験を持つメンバーを中心に構成された、本郷の AI スタートアップです。代表横山は東京大学グローバル消費インテリジェンス寄附講座(GCI)にて講師を担当し、東京大学での研究などのアカデミックな AI バックグラウンドを持つメンバーが多数在籍しています。画像認識技術・マルチモーダル生成 AI 技術を活用したデータ活用・AI 技術に強みを持っており、製造や建設・不動産の領域での図面データの活用ソリューションを提供しています。

- ・ 代表者：横山敬一
- ・ 所在地：東京都文京区本郷 6-25-14
- ・ 設立：2023 年 12 月
- ・ 各種サービス： AI 受託開発事業、生成 AI を用いた DX 支援事業、AI 研修事業

【お問い合わせ先】



アジア航測株式会社

<https://www.ajiko.co.jp/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1

新宿グリーンタワービル

■報道機関窓口

経営戦略本部 経営企画部(広報)

E-mail: aas-prteam@ajiko.co.jp